



四月号 発行所 財団法人全日本仏教会 東京都中央区築地三丁目一丁目(本館) 電話54-0311 発行人 栗本俊道 編集者 高橋忠雄 印刷所 栄昌堂

はなまつり 積尊降誕会を全国的に盛んに行おう

四月八日は釈尊降誕会として各種の行事が日本全国各地で年々盛んに行われて来た。

全日仏はこゝ数年來「花まつり月間」を掲唱し毎年四月八日から五月八日までの間に全国各寺院、各地域仏教会、宗派本山等で出来るだけ「花まつり行事」を盛大に行われるよう、凡ゆる方法を尽して働きかけて来た。近年年毎にこの運動と意識が昂揚されて来た事は誠に喜ばしい事である。

然し乍ら静かに之を眺めた時、未だこの程度で満足すべきではなく、より益々盛んに行われるよう努力せねばならぬ。殊に遺憾に思ふのは全国八万の寺院の中、果してこの月間内に釈尊降誕会の法要なり行事なりを真剣に厳修しているものが幾何あるであらうか。

吾々は敢て単なるお祭騒ぎをすゝめんとしているのではない。参加人員は少く共、その内容は素朴であつても真に吾等の教祖釈尊降誕を祝福するにふさわしい法要行事の行われる事を念願しているのである。

「全一仏教運動」掲唱の声を聞く事すでに久しい。全日本仏教会亦この理想達成のため結成された団体

体である。故に敢て全一仏教運動を盛んにする行事、釈尊降誕会を再三再四強調するものである。全一仏教運動展開には先づ釈尊を正面に堂々と押し出す事から始るといつても過言ではあるまい。各宗祖師の偉大さは釈尊を尊ぶ事によつて少しも減殺されるものではない。この際各宗各派、各寺院は率先垂範して本運動の積極的展開に可能な限りの努力を懇請すると共に、成るべく地域毎に宗派団体を越えて大同団結して有力なる行事を展開し、一人でも多く地元各方面の人々をも吸収動員されん事を念願して止まない。

全日仏、微力ではあるが、之が為新聞、ラジオ、テレビ等の放送機関その他に働きかけて之が公平なる広宣、浸透を図りたいと思ふ全国各方面の諸賢の御支持と御協力を念願する事絶大なるものである。

水戸で仏教徒大会

茨城県仏が主催

茨城県仏教連合会では、かねてより着実な活動を展開しているので関東ブロックでも注目されているが、来る四月十三日世界平和茨

城仏舍利塔建立奉賛会の舍利塔定礎式と併行して水戸市干波湖畔で「仏紀二千五百年記念」県仏教徒大会を催す事になった。当日は全日仏代表を始め、知事、県出身国會議員、県内仏教代表、県、市町議員代表等多数の出席のもと左の通りの行事を行う事になっている。今からその盛大さが期待されている。

1. 午前中いばらぎ新聞社前より干波湖畔舍利塔敷地まで代表者及び稚児行列を行う。
2. 午後一時半より舍利塔定礎式及び南方戦歿者慰霊法要、式後仏教徒大会。

大会では後藤武男仏舍利塔奉賛会長黒田県仏会長の挨拶、来賓祝辞に次いで県内各地区仏教代表者による意見発表、宣言、決議等が行われる予定。

大会要項を確定 準備委開かる

全日本仏教徒の総意を結集すべく開催される全日本仏教徒会議は

その才六回大会が、既報の通り来る六月、東京浅草寺を中心会場として開かれる。これは首都東京での初めての大会として各方面の注視を集めており、浅草寺、東京仏教徒団、全日仏の三者で構成される準備委員会によつて、旧冬來、万全の準備が進められてきたが、去る三月十五日開催の同委員会において別記の通り「大会要項」が確定されて、いよいよ具体的に参加者を募つて大会成功への努力を続ける段階に入った。

同委員会は、先月開催された教育学・教化委員会、社会・平和委員会、国際委員会(前号既報)でそれぞれ考究された結果を検討、調整して、別記の通り三つの討議課

題に集約し、これについて議案を募り、大会の討議に付することを決定した。なお同委員会では、これを諒として各方面から一層の協力を寄せられるよう要望している。

才六回全日本仏教徒会議 東京浅草寺大会要項

「全一仏教運動」が掲唱されて既に幾歳月、教界の期待と批判の中に、全日本仏教会はこの運動推進につとめてまいりましたが、その成果は必ずしも高く評価できるとは申せません。しかし、果して強力な「全一仏教運動」とは実現不可能な空想なのでありましようか戦後十数年を経た今日、物質的な面においては一応の安定を取りもどしたとはいえ、世相の混沌、人心の荒廃は、いよいよその極に赴むくの感を抱かせます。更に国際的にも平和の危機は解消せず、そのことが人々を不安の淵に追いやっていくことも見逃しえせん。大聖釈尊在しませば、いかにこれを観、いかに行われるのでありましようか。

われわれ仏教徒は、今こそ再思考、現代に生きる仏教徒の在り方を検討し、これを行動に移す一大転機といたさねばならないと痛感いたします。回を重ねること、に六回、本年の全日本仏教徒会議を左記の通り開催いたします。

従来の会議方式を反省し、更に充実した全国会議とすべく、諸賢の御協力を念願し、宗派、都道府県仏教会、その他各種団体の積極的な意見の代表者として、全国より有力なる各位が奮つて参加されることを期待いたします。

期日 来る六月十四、十五、十六日の二泊三日

会場 東京浅草寺、浅草公会堂

参加資格及び人員 全日仏加盟の各宗派、都道府県仏教会その他各団体の推薦するもの

正式代表 五〇〇名

オブザーバー 五〇〇名

参加申込 来る五月十五日までに、所属団体推薦書並に参加費三〇〇円を添え、本会事務総局宛申込のこと。但定員に達し次第期日前でも締切。

課題 1. 今日の仏教化活動はいかにあるべきか。
2. 今日の全一仏教運動はいかに展開されるべきか
3. 日本仏教の国際交流をいかに推進すべきか。

議案提出について 右課題について議案提出希望者は一人で二議案まで、四百字以内の提案理由を付して事務総局へお送り下さい。但し、議案審議会の議を経て整理させて頂きます締切五月十五日。

宿泊について 会場附近の大寺院にて、特別の御配慮により三〇〇名まで宿泊準備あり。一人一泊朝食付三五〇円。屋敷並に夕食は各自自弁のこと。

見学について 会議終了翌日(十七日)都内著名寺院見学の準備を進めております。

その他 参加申込書には、住所、氏名、所属団体、宿泊希望の有無(準備の都合がありますから)を必ず明記して下さい。

新年度を迎えるにあたって

各方面の協力を要請する

昭和三十三年八月、全日本仏教会は財団法人として、その法人格を取得してより約半歳のあいだ、内部機構の整理と新出発に対する準備期間をおえて、いよいよ新年度を迎え、各方面に活潑なる運動を展開して、その期待にこたえべく態勢を整えている。

このために去る一月二十四日理事會を開催し、昭和三十三年度における運動方針並に事業要綱を決定し、これに伴う予算の大綱をきめたのである。

一ヶ年間の活動の裏付けとなる予算の編成は、まことに重大であり、財団法人である関係上からも堅実を旨として措置するようにとの考慮も払われ、負担金を約八十万円増額して予算編成にあたることとの決定をみたのである。

従つて直ちに各加盟団体の代表者各位の會議を開催し、理事會において決定をみた案件について承認を求め、二月一日京都において各宗々務総長會同並に西日本地区仏教会長會同を開催し、本会より渡辺理事長、太田事務総長をはじめ三局長出席のもとに、詳細にわたつて説明協議の結果、万端一致をもつて、理事會において決定された事業計画案並に負担金増額の件につき承認した次第である。

更に二月二十六、二十七日の両日にわたり、東日本地区仏教会長會同、諸団体代表者會同を開催し、同様案件につき協議を煩わし、共にその承認を得たので、昭和三十三年度予算案の詳細を立案し、三月十二日事務総局に総務委員會を開き、その検討審議を願ひ、原案

を作成した次第である。

本会の「寄附行爲」才十条の「この法人の事業計画およびこれに伴う収支予算は、毎會計年度開始前に、評議員會の意見を聞いて理事長が編成し、理事會の議決を経て、評議員會に報告し、文部大臣に届け出なければならぬ」とある事項に則り、去る二月二十一日開催の常務理事會において、評議員會、理事會開催の日程を、各方面の事情を参照して三月二十六日午後一時（理事會は同三時）と決定し、定款の規程に従つて昭和三十三年度の予算案審議を願うことになつたのである。

限りある予算内において、最大の効果をあげるよう努力することが一番大切な心掛けであることは申すまでもないが、本會の場合、特に貴重財源の大部分を各加盟団体の負担金にあおている關係上、格別の点に留意して立案されたのである。

その才一は、従来とも常に要望のあつた機関である各種専門委員會の活潑なる運営である。これは各方面の衆智を結集して、各部門に対して適切なる意見と示唆となし、その活動の展開に対して強力なる作戦本部となるものであるこの運営と活動とに対して大いに期待した次第である。

才二は関西事務局との緊密なる連絡による、東西相呼応しての運動推進である。このことは関西特に京都を中心として有力なる仏教活動の根拠たる大本山や各宗務當局も多数あるわけで、その活潑なる活動と相提携して、更に仏教興隆への運動を全国的に推進する拠

点とし、この意義を充分發揮して頂くわけである。

才三には、本會年中行事中特に深い意義をもつ才六回全日本仏教徒會議の開催にあつて、これについては、既に慎重なる研究と準備をもつて計画を進めており、全国の期待にこたえ意義ある大会たらしめると共に、全国組織強化への契機ともなることを念願しているのである。

才四には、今秋行われるタイ国における才五回世界仏教徒會議への参加であつて、近時急速にその度を増している仏教による國際親善、特に東南アジア住民の提携へ

昭和卅二年度事務報告

の協力であつて、その意義は回を重ねる毎に増大している。

この他本會が適時行つている國際交流親善への役割は、まことに多大であつて、又この面への事業の推進は各方面から念願切望されるものが多いのである。

斯様に、内に外に本會がその設立の趣旨と使命を体して、一步一步とその歩を進めてゆくための予算成立に協力を頂き、その指導のもとに誤りない前進を続けることを約して、輝かしい昭和三十三年度を迎えることを衷心より祝福する次第である。（全日仏總務局）

八月

廿三日 財団法人全日本仏教会として許可される

卅一日 才一回理事會（設立許可に伴う諸準備の件）

九月 七日 新評議員會（會長、副會長推薦、理事、監事選出の件）

九日 中国仏教協會から広島への仏像贈呈式（於増上寺）

十日 新理事會（理事長選出の件）

十日 訪中仏教使節団壯行會同使節團羽田出発

十一日 日本宗教連盟理事會

十三日、十五日 才五回全日本仏教徒會議（於奈良東大寺）

十九日 理事會、常務理事、事務局長、局長選出の件

廿六日 常務理事會（局長選出の件）

廿七日 訪中使節團の高階、佐瀬代表帰國

十月 廿四日 ネール首相一行來日

八月

八日 ネール首相歓迎國民大會共催（於都体育館）

贈呈（於迎賓館）

十四日 日本宗教連盟理事會

十六日 常務理事會（予算案に關する件）

廿三日 訪中仏教使節團帰國

廿四日 同使節團歓迎午餐會（於三笠會館）報告會（於日本堂）

廿九日 評議員會、理事會（於京都東本願寺、卅二年度予算、関西事務局、役員増員等の件）

十一月 一日 ラオス仏紀二千五百年祭典へ大西、石川代表出發

十日 「ブディスターティ」離宮を後援

十一日 日本宗教連盟理事會

十六日 大西、石川代表ラオスより帰國

十七日 英語弁論大會（於立正大學）を後援

廿日 常務理事會（役員増員

十二月

廿六日 比国へのセメント贈呈船出式（アジア善隣運動本部）に参列

訪中仏教使節團残務処理委員會

二日 セイロン舍利弗目蓮聖骨堂建立募金を行う

四日 中国紅十字會代表來日につき協議會（於永平寺別院）

六日 原齋新駐緬大使歡送會に出席

七日 李德全女史一行來日 中国人殉難者慰靈法要執行（於永平寺別院）

十一日 仏教學生音楽演奏會（於山葉ホール）を後援

十六日 常務理事會（比島戰歿者遺骨収集團派遣代表の件）

十九日 日本宗教連盟理事會

廿日 ブラジル移民五十年祭の件で辻本氏來日

廿九日 渡辺理事會（卅三年度予算編成に關する件、ブラジル移民祭代表派遣の件）

高階會長中国向け放送中国紅十字會歓迎委員會（於都議會議）

廿三日 李德全女史一行歓迎都民の集い（於共立講堂）

廿七日 ブラジル派遣代表について的小委員會

一月 八日 常務理事會（ブラジル派遣代表、セイロン水害救援等の件）

十三日 ビルマパゴダに關する報告會（三頁に續く）

大きな力添えに感謝

セイロン首相から礼状

先月行われたセイロン水害救援運動は仏教界各方面の非常な協力を受け、予想外の好成績をおさめたことに對して全日仏当局は心からの好意と感謝を捧げているが今回、セイロン国首相バンダラナイケ氏から、全日仏高階会長宛に次の如き貴重な礼状が寄せられてきた。

大僧正統下

私は、たゞいま東京在住のセイロン大使を通じて、セイロンにおける水害救援のため集められた八〇〇〇〇〇点、タオル九二三六点、衣類九〇〇点余、その他について記載されてある二月十五日付の宛下よりの書面を手に入れました。

この心からの贈物とこれらの贈物を収集された御苦労に對しての、わが国政府の衷心よりの謝意を、何卒おくみとり下さい。それらの贈物は、洪水によつて生じた苦しみを軽減する上で大きな力となるにちがひありません。

一九五八年三月四日
セイロン国首相
ソロモン・バンダラナイケ

ラオス首相来日

熱心な仏教国であるラオス国の首相スヴァンナ・プーマ氏は去る三月六日午後四時羽田着の特別機でわが政府の国賓として来日した。昨秋石川、大西両代表が同国で開かれた仏教祝典に招かれた意味もあり、全日仏でも何らか歓迎の意を表す意向であつたが滞在期間が

わづか一日なので、翌七日首相官邸で挙行のリセプション席上石川局長が口答で感謝のことばを伝えられた。

在華邦人遺骨収集問題

廿七団体で懇談会

中華人民共和国には約二十万の日本人の遺骨が埋葬放置されているといわれるが、目下新中国の建設が各所で大規模に行われており遺骨収集調査はだんだん困難をきわめて来る様な現状である。昨年未はこの問題に關連して李徳全女史を団長とする、青島紅十字会代表十三名が来日し、青山永平寺別院にて中国人殉難者の追悼法要が執行された時に同代表から調査された邦人遺骨二千三百六柱の資料が日本側へ手交され、以来全国的に關心が高められて来た。これを契機として全日仏、日中仏懇、訪中仏教使節団を初め廿七団体が中心となつて政府に強力に呼びかけ世論喚起のり出すことになり、去る三月十日、中国人俘虜難者慰霊実行委員会、在華邦人遺骨問題特別委員会（委員長大谷登潤氏）では在華邦人遺骨の収集調査につき参議院会館才二会議室にて関係廿七団体の代表を招いて会議を開き今後の遺骨送還に關して相互の意見を交換して要望をとりまとめ、その對策について懇談した。全日仏から柳國際部長が出席した。

在華邦人遺骨取りも協議

終戦時の混乱のさ中、南北朝鮮で倒れた日本人は実に二十万とい

われているが種々なる事情で未だ収集の段階に至つていないが、今般北朝鮮政府は龍山墓地など各所に埋葬されてある日本人遺骨を日本の遺族に手渡したい旨を表明し、いよ／＼北朝鮮遺骨収集の見通しも明るくなつて来た。日朝協会（会長山本熊一氏）では三月十四日午後一時より衆議院才一会館才四会議室に於て関係各団体代表者を招き在朝鮮邦人遺骨の引き取りを主に熱心に協議した。なお在日朝鮮人遺骨の南北朝鮮への送還につい

比島遺骨無言の歸国

東京九段で慰靈祭

比島方面で散つた旧日本軍將兵の遺骨収集の爲め去る一月廿七日東京港を発ち、約一ヶ月半比島各地の山野に散乱せる遺骨収集をつづけて来た散集団は、二千五百六柱の遺骨を収集して、二月十一日午前九時半銀河丸にて東京晴海棧橋に帰着した。船上では厚生運輸両省次官らが参列し、遺骨奉迎式及帰港式がおそそかにとり行われ、午前十一時には稲葉団長を先頭に仏教界代表稲葉真意師（東本願寺）を含む十三人の収骨団員の胸々に遺骨が抱かれ下船し、三台の靈柩車に移されて、陸上自衛隊の葬送曲のうちに政府主催追悼式場である九段会館に向つた。

（二頁より）

ても同様協議した。全日仏から柳國際部長が出席した。

セイロン等へ仏像贈る

セイロン国コロンボ市郊外のアマラ寺から仏像一尊を贈るの依頼をうけた全日仏では、國際親善の意味から、名古屋市在住高藤鎮夫氏に製作を依頼して、これを贈ることになつた。なお、ハンガリー仏教会、及ジャワ中部仏教会の同様の要請にも応えるべく準備中。

午後一時半から比島方面戦没者追悼式が遺族の涙の内に岸総理初め藤山外務相、堀木厚相など關係閣僚を初めメリー在日比島大使らが列席して厳そかに行われ、秩父宮妃殿下や遺族代表など各界から約千名が参列した。稲葉団長より現地の報告がなされた。引続き同所では日本宗教連盟を初め民間四団体共催の追悼慰靈祭が厳肅にとり行われた。なお宗教界代表として現地で活躍した仏教界の稲葉真意師、並にキリスト教界代表の長途の苦勞をねぎらう婦國歓迎会は日宗連主催で翌三月十二日午前十一時より東京銀座三三會館に於て盛大に開かれた。

- 十六日 セイロン水害救助対策協議会
- 十九日 比島戦没者遺骨収集団 壮行会に出席
- 廿二日 同収骨団出発見送
- 廿四日 才一回全日本仏教徒会議打合せ（於浅草寺）
- 廿五日 理事會
- セイロン水害救援協議

- 廿六日 インド独立記念リセプションに出席
- 廿七日 日本宗教連盟理事會 仏婦修正会に出席
- 廿八日 才一回組織委員会
- 卅日 才一回國際委員会、辻本氏歓迎會
- ガンジー殉難十周年記念式並に講演會に出席

二月一日	全國事務總長・西日本府県仏会長會議（於京都知恩院）
二日	尼僧法團淺草でセイロン水害救援托鉢実施
四日	セイロン獨立記念式典に出席
八日	セイロン水害救援募金を都内一齊に挙行
十日	山梨県仏再建協議會に出席
十三日	淺草寺大會準備會
十五日	セイロン水害救援金品贈呈式（於セイロン大使館）
十七日	才一回教學教化委員會
十八日	才一回社會平和委員會
廿一日	國際委員會
廿二日	常務理事會（仏教徒會議、ブラデル派遣代表ビルマゴダの件）
廿五日	日本宗教連盟理事會
廿六日	東日本府県仏會長會議
廿七日	加盟団体（除宗派果仏）代表者會議
廿八日	ビルマゴダに關する特別委員會
三月三日	ブラジル開教と移民に關する懇談會
六日	ラオス國首相来日
七日	首相官邸に於るラオス國首相歓迎リセプションに出席
十一日	比島収骨団歸國出迎
十二日	比島方面戦没者慰靈祭行わる（於九段會館）
十二日	總務委員會
十二日	宗教代表歡迎會
十五日	淺草寺大會準備會
十七日	「花まつり」座談會
廿五日	日本宗教連盟理事會
廿六日	評議員會理事會

東京の『花まつり』

仏陀は曾つて人の心に灯をともした。その法灯は燃えつゞけて二千数百年に亘り世界人類に光明を与えて来た。真の自由真の平和はこの光明の中へのみ求められる。いま宇宙時代の仏教はその科学性が高く評価されている。仏陀の法はその法を自覚するものに直ちに光りかがやく。この故に仏陀の法は甚深微妙といわれる。仏誕を祝福しよう。

今年四月全部に展開の盛大豪華な花まつり行事で本部に報告連絡の分は左記の通りである。

- 一八日 亀戸大通各所 稚児花御堂練供養巡回子供会、子供映画大会(城東仏教団・亀戸花まつり会)
- 一八日 浅草各所 浅草地区を七地区に別け、商店街地元町民の協賛により、宣伝カー使用子供会其他(浅草仏教会)
- 三日 本郷海蔵寺 花まつりこども会(本郷仏教会)
- 四日一時 牛込生活館 花まつり子供大会。仏教放送文化協会のトーカーズライド、奇術、曲芸、映画等(新宿連合仏教会・牛込仏教会)
- 五日一時 鳥山小学校 存明寺にて灌仏慶讃法要、小学校で花まつり慶祝大行進(鳥山寺院連合会)
- 五日十時 氷川小学校 氷川古里保育園、タンダバハ舞踊教室の奉祝舞踊、三時まで講堂にて開催(奥多摩氷川本部・多摩川仏教会)
- 五日一時 田無総持寺 産経協賛花まつり演芸大会(北多摩摩仏教会・田無花まつり会)
- 五日二時 長崎子供の家 花まつり子供大会(東京花まつり会・豊島大乗寺)
- 五日五時 亀戸萩寺 花まつり俳句大会(城東仏教団・亀戸花まつり会)

- 六日 奥多摩商店街 花まつり行進、奥多摩町内全域巡(奥多摩氷川本部・多摩川仏教会)
- 六日十時 本郷着町街頭 肴町交又点に花御堂安置、十時法要執行、四時まで法話・童話、紙芝居、甘茶接待(本郷仏教会)
- 六日 田端地区 町内を一日中白象行進(滝野川仏教会)
- 六日一時 芳林公園 花まつり演芸会(神田寺)
- 六日一時 大塚公園 こども花まつり大会、一千名の子供へプレゼント(大塚上社商店会・同町会・母の会)
- 六日一時 上野公園 清水堂から花御堂稚児行列にて水上音楽堂に至り灌仏式、清興インド舞踊等を行(下谷仏教会)
- 六日一時 四谷文化会館 稚児行列、慶讃法要、花まつり児童大会、慶応大学児童研究会の人形劇(四谷花まつり奉賛会・四谷仏教会)
- 六日一時 麻布善福寺 十番龍沢寺より商店街通り稚児白象行進童心座出演子供大会(麻布仏教会)
- 六日九時 深川各方面 深川地区内各子供会を動員の各地花自動車行進子供大会(二時まで)(深川仏教会・少年少女団体連合会)
- 六日十時 田無総持寺 白象稚児行列、花まつり大会、花まつりセーリング三月廿九日、六日(田無花まつり会・総持寺)
- 六日十時 駒沢大学講堂 花祭り子供大会(世田谷仏教会・駒沢大学児童研究会)
- 六日十時 寺島法泉寺 寺島地区各町商店街地元婦人会協力花御堂大白象、稚児行列、法泉寺で灌仏会(向島仏教徒連盟・向島仏教会)
- 六日二時 文京児童会館 花まつり子供大会(小石川仏教会・

- 文京児童会館) 花まつり講演の夕(城東仏教団・亀戸花まつり会)
- 六八日 銀座三笠会館 銀座花まつりの風情で花まつり料理提供、来店家族の楽しい和やかな清餐会場とする(三笠会館・東京花まつり会)
- 七八日 神田盛り場 神保町富士屋デパート前、盛場にて花御堂街頭法要(本郷仏教会)
- 七日一時 墨田妙源寺 吾郷地区大白象行進(向島仏教会・向島仏教徒連盟)
- 七日五時 文京若溪会館 花まつり前夜祭、区民有志文化人三百名の交歓晩餐会、各層代表の清談、余興(東京花まつり会・文京区文化団体)
- 七日六時 神田寺 花まつり前夜祭(神田寺)
- 八日一時 品川区公会堂 灌仏法要、稚児行列、小中学校児童劇、立正学園高女声楽隊聖歌(品川仏教連合会)
- 八日一時 音羽護国寺 伝統の時代祭、けんらんたる大名行列堂々百五十名参加、稚児其他一千名の大行進(護国寺振興会・護国寺修養会)
- 八日一時 滝野川寿徳寺 児童大会(滝野川仏教会)
- 八日一時 隅田正福寺 隅田地区内花御堂大白象巡行(向島仏教徒連盟・向島仏教会)
- 八日一時 玉川不動公園 満願寺及び等々力不動公園にて灌仏式花まつり大会、幼稚園保育園参加(玉川仏教連合会)
- 八日十時 小岩善養寺 積尊聖地御土砂奉養会主催、戦後慰霊法要土砂奉養落慶法要を兼ねる(江戸川仏教会)
- 八日一時 小岩宣要寺 歌謡大会 稚児行列、灌仏会(同上)
- 八日二時 神田寺 十時幼稚園花まつり、二時一般子供花まつり児童三千人へプレゼント(神田寺)
- 八日 奥多摩周慶院 釈尊降誕会(多摩川仏教会)

- 八日 本郷各幼稚園 地区各幼稚園、各寺院で花祭奉讃児童大会(本郷仏教会)
- 八日 小石川各所 指ヶ谷町電停前春日町交又点大塚仲町等にて街頭花まつり花御堂甘茶供養区内巡視(小石川仏教会)
- 八日 牛込地区各所 地区内各寺院白象練供養(牛込仏教会)
- 八日二時 田端大久寺 田端町一円白象行進まつり大行列(滝野川仏教会)
- 八日中 目黒円融寺 花御堂を中心とする幼稚園児参加、灌仏、子供のおうた(目黒仏教会・国宝円融寺)
- 八日五時 神田学士会館 花まつり清談晩餐の夕(仏教同志クラブ・全日本仏教会)
- 八日十三日 池袋三越 花まつり奉讃現代美術展覧会(現代仏教美術院・全日本仏教会)
- 九日九時 田端幼稚園 こども花まつり大会(滝野川仏教会)
- 十日七時 神田寺 花まつり記念講演会(神田寺木曜会)
- 十一日一時 神田寺 婦人花まつり(神田寺婦人会)
- 十三日十時 秋多商工会館 秋多町玉泉寺より白象大行進、地元商店会各団体の協力により花祭り大会(秋多町仏教会)
- 十五日正午 練馬区公会堂 了見寺集合、稚児行列にて公会堂に至り花まつり大会(練馬区仏教会)
- 十九日一時 板橋区民会館 町内幼稚園保育園合同花まつり(板橋仏教会・檀越総代会)
- 五月二日 目黒区公会堂 花まつりの集い、仏教幼稚園児の演技(目黒仏教会・目黒仏教保育連盟)
- 五月五日 文殊院乗蓮寺 午前九時より地元町会一帯白象児童行進、子供の舞踊大会(板橋仏教会・仲宿花まつり会)
- 五月八日 奥沢九品仏 九品仏商店会及び地元町会の後援による花まつり大会(玉川仏教連合会)

セイロン救援物品明細表

目黒仏教会	六九点
下谷仏教会	四三〇
墨田仏教会	一四〇
赤坂仏教会	八五
品川仏教会	一八六
(大井、荏原、大崎各)	
仏教会の分を含む)	
芝仏教会	二二五
本所仏教会	六九
城東仏教団	一三七
日本仏教鑽印会	四〇八
ロッドメリヤス株式	一三〇
会社社長朝屋吉二(100分)	二二〇
聖観音宗浅草寺	三九四
本郷仏教会	二九七
浅草仏教会	二九七
深川仏教会	二二五
滝野川仏教会	二七八
孝道教団婦人会	四三三
浅草市願寺婦人会	四三三
荒川淨閑寺婦人会	一六
光臨寺婦人会	九七
川越喜多院婦人会	六〇
真持寺報恩婦人会	二〇
横濱市崇山派婦人会	二〇
野田市仏教婦人会	三〇
長野市仏教婦人会	三〇
神田市仏教婦人会	八〇
たちばな幼稚園	一〇〇
婦人救済会	一〇〇
協和心婦人会	八七
協和心株式会社	六〇
尼僧法団	三三
大和会	三三
真如会	二二
山本杉子	二四
中田和子	二四
身延山青鹿たわ扱	一五〇
栗原富士子	七〇
栗原富士子	七〇
立石たつき	二〇
村田嘉久子	一七
全日仏教会員小口扱	一九
その他雑品	三三
計	一〇、三二七
救援物品明細表	
タオル四〇元点	手拭五、三〇元点
等衣服等衣類九元点	石鹸、粉乳
昭和三十五年二月八日	全日本仏教会